

資料 7

平成24年9月21日

長久手市教育委員会 御中

[申請者]

住 所 日進市岩崎町竹ノ山57番地

団 体 名 名古屋学芸大学

代表者氏名 学長 井形 昭 弘

連絡先電話番号 0561-75-2762 (総務課直電)



後援・推薦名義の使用について (依頼)

下記のとおり行事を開催しますので、後援・推薦名義使用を承諾願います。

記

行 事 名	2012年度名古屋学芸大学 公開講座
行事の目的	大学開放と生涯学習の推進を目的として、市民各層を対象に広く学習の機会を提供し、各分野の知識と技能の向上に寄与すること。
主 催	名古屋学芸大学
その他の後援・推薦依頼先	名古屋市教育委員会、日進市教育委員会
開催の期日	平成24年12月8日(土) 午前10時30分から午前12時00分まで
開催の場所	名古屋学芸大学 (〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地)
入 場 料	無料
対 象 者	一般市民
前回の開催日	平成23年12月3日(土)
内 容	別紙「2012年度名古屋学芸大学公開講座 企画書」参照



2012年度名古屋学芸大学短期大学部公開講座 企画書

講 師	タ イ ト ル	内 容	開 催 日 時	備 考
<p>メディア造形学部 デザイン学科 教授 木村 一男</p>	<p>新幹線と30年・デザ イン開発をめぐって</p>	<p>私か新幹線のデザインと関わりをもつことになったのは、1979年＝昭和54年のことでした。ちょうど、東北・上越新幹線の開業にむけて、準備が着々と進められているころでした。</p> <p>以来33年、関わったのは2階建て新幹線100系から、昨年開業の山陽・九州新幹線相互直通用N700系7000・8000番台まで、10形式にもなります。</p> <p>その間、技術開発、設計、製造、営業など多くの方々と協力しながら、より安全で、より快適な新幹線の旅をご提供するのために、力を注いできました。</p> <p>再来年＝2014年は、新幹線開業50周年です。開業当時の「夢の超特急」は、もう、すっかり身近な存在となりました。</p> <p>今回は、新幹線のデザイン開発のあれこれや、開発プロセス、製造工程、これからの展望などをお話して、皆さまの新幹線へのご関心を、少しでも深めていただく機会になればと願っております。</p>	<p>12月8日(土) 午前10:30頃を 予定 (90分講座)</p>	<p>受講料無し</p>

2012年度公開講座 収支予算書

収入の部

目	金額	備考
受講料金	¥0	無料
学内公開講座経費	¥700,000	
収入合計	¥700,000	^

支出の部

目	金額	備考
チラシ作成・印刷代	¥460,000	カラー印刷
新聞折込チラシ委託料	¥200,000	日進市、長久手町、名東区へ配付
郵送経費(公的機関・過去受講者宛)	¥16,000	@¥80 × 約200件 ^
郵送経費(受講者へ要項等案内発送)	¥8,000	@¥80 × 100件(予想) ^
講師手当(木村一男教授)	¥10,000	@¥10,000(給与振込) ^
雑費	¥6,000	コピー代・封筒代・その他 ^
支出合計	¥700,000	^

2011年度 名古屋学芸大学公開講座

後援：日進市教育委員会、名古屋市教育委員会、長久手町教育委員会

ユニヴァーサルデザインを考える ～一人一人の人間性を尊重した社会環境づくり～

講師：川原 啓嗣 (メディア造形学部 デザイン学科 教授)

ユニヴァーサルデザインを直訳すると「普遍的設計」とか「汎用的設計」といった言葉になるが、その訳だと、本来の意味を取り違えてしまう。「平均的なデザイン」とか、「多数が使えるデザイン」といったニュアンスで受け取られてしまうからだ。一方、「ヒューマン・センタード・デザイン (人間中心設計)」や「インクルーシブ・デザイン (包摂的デザイン)」といった類似の言葉の方が、ユニヴァーサルデザインの概念に近い。

人間は多様な存在であり、状況もそれぞれ異なる。背の高い人もいれば低い人もいる。男女の違いもあり、年齢も違う。身体的な理由で歩き難いとか、見え難いという人たちもいる。全ての人は、できれば不自由を感じることなく、快適に暮らしたいと思っている。人々の基本的な欲求に対して、道具や環境がきちんと応えなければならないのだが、今までのデザインは、あまりにも平均的な人だけを見て、多様性を考慮することを怠ってきた。そこを考え直して、できるだけ多くのさまざまな状況に置かれた人たちのためのもの作り、環境作りをしていくのが、ユニヴァーサルデザインの基本的な思想である。すなわち人間を中心に社会を考えるということであり、大切なのは、人権の意識や人間の尊厳なのだ。

【申込方法】

ハガキ・FAX・E-mail に以下の事項をご記入のうえ、お申し込みください。

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名 (ふりがな)
④電話番号 ⑤スクールバスの利用の有無
※申込みされた個人情報は、本学公開講座以外では使用いたしません。

【申込・問い合わせ先】

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
名古屋学芸大学 事務局総務課「公開講座」係
TEL 0561-75-1735 (直通)
FAX 0561-73-8539
E-mail koukaikouza-ml@ml.nuas.ac.jp

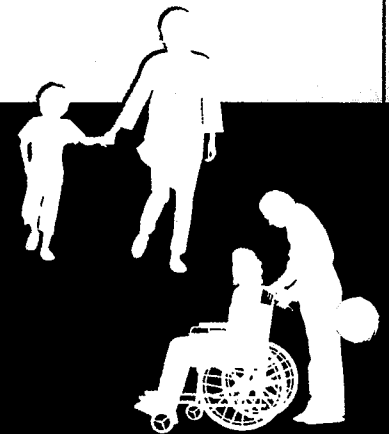
PROGRAM

開催日：12月3日(土)

時間：AM10:30
～PM12:00

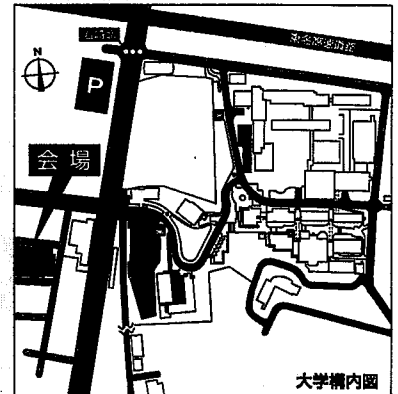
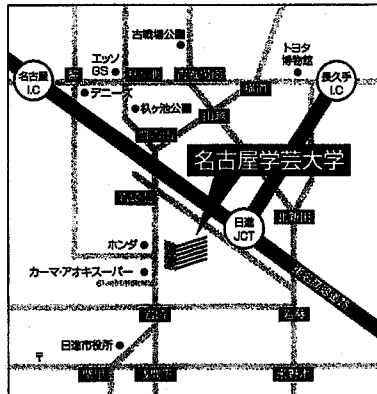
会場：本学HB301教室

受講料：無料



【交通案内】

- スクールバス (無料) ※所要時間は両駅共に約 20 分です。
 - ・地下鉄東山線「上社駅」発
【上社下車駅北側バスターミナル1番乗場】
 - ・地下鉄舞臺線「赤池駅」発
【1番出入口北西側、本学専用バス乗場】
- ぐるりんばす (日進市内巡回バス)
 - ・中央線「竹の山」バス停下車すぐ
- シャトルバス (無料)
 - ・リニモ長久手古戦場駅→本学
※所要時間は約15分です。
時刻表は本学ホームページを参照して下さい。
- お車の方 本学第1駐車場 (右図) をご利用下さい。



NUAS
名古屋学芸大学

NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS AND SCIENCES

www.nuas.ac.jp

2012年度 公開講座委員会名簿

名古屋学芸大学
名古屋学芸大学短期大学部

1号委員 小笠原則彰 (映像メディア学科・准教授)
井垣理史 (デザイン学科・講師)
木村佳津子 (ファッション造形学科・准教授)
山内恵子 (管理栄養学科・准教授)
近森けいこ (子どもケア学科・准教授)

2号委員 黒澤宣輝 (短期大学部長・教授)
内田君子 (短期大学部・准教授)

3号委員 細江保司 (事務局長)

4号委員 山野正敏 (総務課長)

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部公開講座に関する規程

(趣旨)

第1条 名古屋学芸大学学則第64条及び名古屋学芸大学短期大学部学則第68条に基づき開設する公開講座については、この規程の定めるところによる。

(目的)

第2条 公開講座は、地域の社会人に広く学習の機会を提供し、各分野の知識、技能の向上と生涯学習に寄与するための教養講座とする。

(名称)

第3条 この公開講座は、「名古屋学芸大学公開講座」と称する。

(公開講座委員会)

第4条 公開講座の実施に関する諸事項を協議し、円滑な運営を図るため、公開講座委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 名古屋学芸大学各学科から教員1名
- 二 名古屋学芸大学短期大学部から教員2名
- 三 事務局長
- 四 総務課長
- 五 その他学長が委嘱する教職員

3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 委員会に委員長を置き、委員の互選により、選出する。

5 委員長は、委員会を招集し議長となる。

(講座内容及び受講料)

第5条 講座内容及び受講料は、委員会で決定する。

(庶務)

第6条 公開講座に関する庶務は、事務局総務課において行う。

附 則

1 この規程は、平成5年10月20日から施行する。

2 公開講座に関する規程(昭和58年4月1日制定)は、廃止する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

長久手市教育委員会の後援、推薦審査基準
 (行事名 2012年度名古屋学芸大学 公開講座)

審査項目		判断 (事務局が該当に○印)	
		適	否
催し物の内容	目的が明確なものか	○ /	
	時代の進歩に応じているものか	○ /	
	生活、経験、興味に即しているものか	○ /	
	教養を高め、文化の向上に資するものか	○ /	
	豊かな情操を養うものであるか	○ /	
催し物の目的その他	営利を目的としていないか	○ /	
	有料である場合、料金が情勢に即しているか		
	公序良俗に反するおそれがないか	○ /	
	商業的又は政治的な宣伝を意図するものでないか	○ /	
	社会的悪影響を及ぼすおそれのないものであるか	○ /	
	映画等は、国・地方公共団体又は教育委員会の後援又推薦があるか (他で開催された実績があるか)		
	市民を対象とするものであり、一地区に限らず、会場が適切であるか	○ /	
	有料で後援申請をする場合、国又は地方公共団体の主催又は後援のものであること及び公共的団体が主催するものであること		
	申請時において、料金や催し物の内容が明確になっているか (予定、未定となっていないか)	○ /	
主催者について	特定の政治団体に関するものでないか	○ /	
	特定の宗教団体に関するものでないか	○ /	
	存在及び組織が明確で、事務遂行能力が十分であると判断できるか	○ /	

H24.9.28

確認済
 戸谷純

様式3 (第7条関係)

決	副委員長	教育長	教育部長	次長
	課長	係長	係	
裁				

H23 12 9

(印)

平成23年12月7日

事業実績報告書

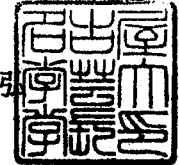


長久手町教育委員会 御中

住所 日進市岩崎町竹ノ山57番地

団体 名古屋学芸大学

代表者 学長 井形 昭弘



平成23年10月6日付け23長生第329号にて承認のありました事業が完了しましたので、下記のとおり報告します。

承認内容	下記行事に対する「後援名義の使用」
行事名	2011年度名古屋学芸大学公開講座
日時	平成23年12月3日(土) / 10時30分~12時00分
場所	名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部B棟301講義室
主催	名古屋学芸大学
その他の後援・推薦先	日進市教育委員会、名古屋市教育委員会
開催状況	<p><参加人数> : 60名 /</p> <p><参加料> : 無料 /</p> <p>総額 700,000円</p>

その他添付資料：公開講座のチラシ、受講者への要項等案内文、新聞掲載記事(写)

